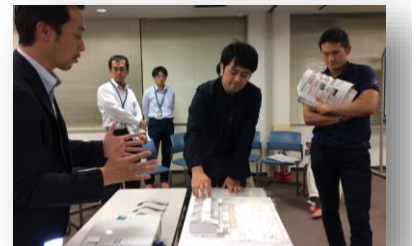


大名みえ子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2
電話・FAX 029-284-0761
E-mail toukai@oona-mieko.info

（仮称）歴史と未来の交流館建設にむけた、住民への説明会が各コミセンで開かれる



（仮称）歴史と未来の交流館建設に関する住民説明会が、9日から各コミセンで開催されています。村生涯学習課と設計会社の梓設計が説明しています。参加された住民からの質問、意見では、「なぜ緑地にわざわざ建てるのか」「建設費およびランニングコストが高額に見込まれ、村財政の将来が心配」「あってもいいがなくてもいい施設」など、建設に心配を持たれる意見がありました。

また、「本村内からの歴史的出土物の適正な管理の必要性」や「先人の暮らしぶり、生き方などから現代が学び将来に引き継ぐことの大切さ」のためには、「ぜひ必要な施設」。「運営のためには工夫が相当必要なので努力してほしい」「住民参加型で日々活気ある施設に」など、建設を後押しする意見もたくさん出されました。

大名が説明会に参加した範囲で感じたことは、「本施設建設経計画について住民の方々にはこれまで、的確な情報が伝わっていなかった」のではないかとことです。説明を聞かれた参加者の多くは、「そういう施設だったのか」「イメージしていたものとは違っていた」など感じていたように見受けられました。

早期の完成を心から待たれる参加者もおられました。文教エリアの充実として東海村の魅力の1つに確実につながるでしょう。

【6月議会一般質問から要約してのご報告】 ◇真崎浦土地改良区の揚排水機場の管理について

大名 東海環土地改良区との違いは、機場の管理が改良区単独で行われていること。想定外の豪雨の発生が頻発し、改良区のみでの管理には限界が来ている。村の支援が必要になっている。

建設農政部長 真崎浦土地改良区と協議し、農繁期以外に発生した豪雨等の機場運転に関して村からの支援を検討していく。機場は、豪雨等ふまえ、更新工事を進めていく。

大名 理事長さんのお話では、「土砂等の堆積によると思われるが中央排水路の貯水量が低下している。浚渫を村にお願いできないか」とのことだがこれもぜひ支援してはどうか。

建設農政部長 村としての今後の対応を検討していく。